

感染症ニュース

No.219 2023/07/21

文責：竹鼻 純子

<流行中の感染症>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

富山県での感染者数も増え続けており、定点報告の人数は前の週の1.32倍で1位となった。第9波に入ったとの報告もあり、高齢者の重症化予防のための6回目のワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続は必要である。感染拡大を最小限にするために、今後、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着けることが推奨される。

ヘルパンギーナ、手足口病

夏に多い感染症で、発疹が口の中だけにできるのがヘルパンギーナ、手・足・口にできるのが手足口病である。高熱や痛みで飲食ができず、脱水症になったり、髄膜炎や脳症を合併したりすることもある。ウイルスは便中にも1カ月間存在する。

RSウイルス感染症

本来は夏の終わりから春先にかけて流行するが、今年は6月から流行し増加中である。乾いた咳と熱が出る。生後数か月までの乳児が感染すると重症となり、呼吸困難に陥り、死に至ることもある。

感染性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎の代表であるノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、アルコールによる手指消毒を過信せず、石鹸による手洗いを徹底することも重要。気温と湿度が高くなり、細菌による食中毒にも要注意。

溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多い。例年、秋から冬を通して春先にかけて流行するが、今年は感染予防策が緩やかになった5月から流行が続いている。再感染や再発例も多い。

アデノウイルス感染症 (プール熱、咽頭結膜熱)

急な発熱が数日続くが、比較的元気なことが特徴で、のどの痛み、目の充血や目やにを伴うこともある。夏に流行しやすく、感染力が非常に強いため、要注意。